

第4回「古代史解体新書」報告



数日前より「寒波襲来で府南部でも積雪」との天気予報があり、府の北部や滋賀県では70cm以上の降雪があるとの情報も飛び交う中、前日には開催についての問合せを数件いただくなど、やまきんとしてもほんとに開催できるのか気がかりな状況でした。

当日もお昼前後には細かな雪まじりの雨も降り、参加者の皆さんの出足も大変悪く、開会の10分前でようやく8名の参加という状況でした。その後7名参加いただき何とか15名の皆さんにお集まりいただけたという次第です。

講演会の内容としては、講師の筒井先生が特に研究の中心とされている、仏教の伝来とともに寺院の建設がどのように進んだのか、南山城地域を中心に渡来人や伽藍様式、特に使用された瓦の特色などを具体的に「なるほど」と納得しながら学ぶことができました。

次回1月23日(日)はお約束通りこれまでの講演内容に係わる疑問だけではなく、古代史に係わる内容なら何でも質問していただき、筒井先生からお答えいただける時間を設定しています。

ぜひたくさんさんの「古代史」ファンの皆さんの参加をお待ちしています。